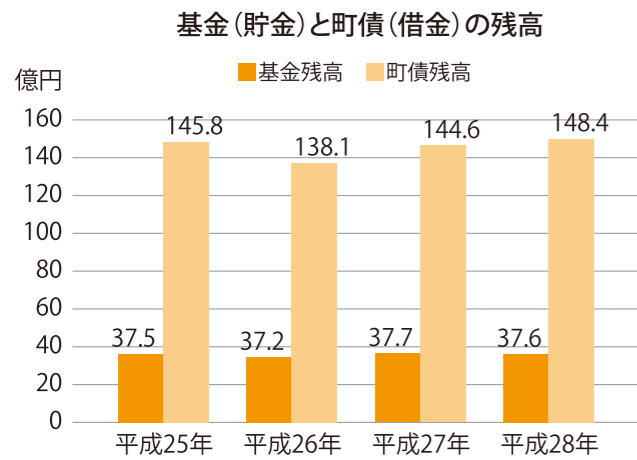


まちの決算

基金(貯金)と町債(借金)の残高

基金は、約37億円で推移しています。平成28年度は、奨学基金や若者女性応援基金などに約8千万円を積み立てて、庁舎建設やふるさとの森運営などのために94百万円を取り崩しました。

町債は、平成26年度末に138.1億円と町合併後最も少なくなりましたが、平成27年度から増加に転じ、28年度末では約148億円となっています。町は、住宅や道路、水道などを整備するときに、国や金融機関からお金を借りています。(基金・町債残高には、特別会計分を含む)



まちの財政の健康状態を表す指標

実質公債費比率 9.8% (昨年度11.0%)

家計に例えると、年収に対してローンの年間返済額が何割あるかを表しています。昨年度から1.2%減少し、現時点では健全な状態と言えます。平成29年度はさらに減少する見込みですが、平成30年度以降は上昇していく見込みで、公共施設などの建設や統廃合には適切な判断が必要だと考えます。(この指標が25%以上になると、一部の起債(借金)の借入れが制限されます)

将来負担比率 47.7% (昨年度55.1%)

家計に例えると、ローンの残額や子どもへの仕送り費用など将来負担しないといけない費用の合計が、年収の何年分あるかを表しています。昨年度から7.4%減少しましたが、町債の残高が増えると上昇する可能性があります。

経常収支比率 92.4% (昨年度88.0%)

人件費や扶助費、借金の返済費用のように毎年度決まって支払われる経費が、税金や普通交付税などの使い道が限定されない毎年度経常的に収入されるお金のどのくらいを占めているかを表しています。

比率が100%に近くなると、自由に使えるお金が少なくなり、財政にゆとりがなくなります。

特別会計

全ての会計で、黒字決算となりました。簡易水道事業では、佐見地区の水道敷設工事に着手したほか、杉戸浄水場の改修工事を実施しました。下水道事業では、浄化槽を新たに13基設置したほか、平成29年度から利用が始まった雲南広域連合の処理施設へ汚泥を搬入するため、頓原浄化センターの設備を改修しました。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	7億35万円	6億9,981万円	54万円
後期高齢者医療事業	1億7,849万円	1億7,757万円	92万円
介護保険サービス事業	3,179万円	2,732万円	447万円
簡易水道事業	4億2,337万円	4億1,831万円	506万円
下水道事業	4億7,663万円	4億7,105万円	558万円

病院事業会計

病院事業会計(収益的収支)は、入院収益は減少しましたが外来収益が増加し、また経費が抑えられたことから、単年度利益は5,870万円となりました。病院事業会計(資本的収支)は、眼科診断機器や心電計、待合室のソファなどを更新しました。

会計名	収入済額	支出済額	差引残額
病院事業(収益的収支)	10億3,908万円	9億8,038万円	5,870万円
病院事業(資本的収支)	7,018万円	1億4,042万円	-7,024万円

※収益的収支は、病院の経営活動に係るもの(料金収入や人件費、施設維持費、薬品費など)
資本的収支は、施設、医療機器の整備や借入金の返済費用などに係るもの

町民1人当たり1世帯当たり

人口 5,029人
世帯 2,047世帯
[平成29年4月1日現在]

使った費用【一般会計】

80億9,335万円
1人 161万円
1世帯 395万円

負担した税金【一般会計】

5億679万円
1人 10万円
1世帯 25万円

借入金残高【一般会計】

97億3,211万円
1人 194万円
1世帯 475万円

借入金残高【全会計】

148億4,222万円
1人 295万円
1世帯 723万円

基金残高

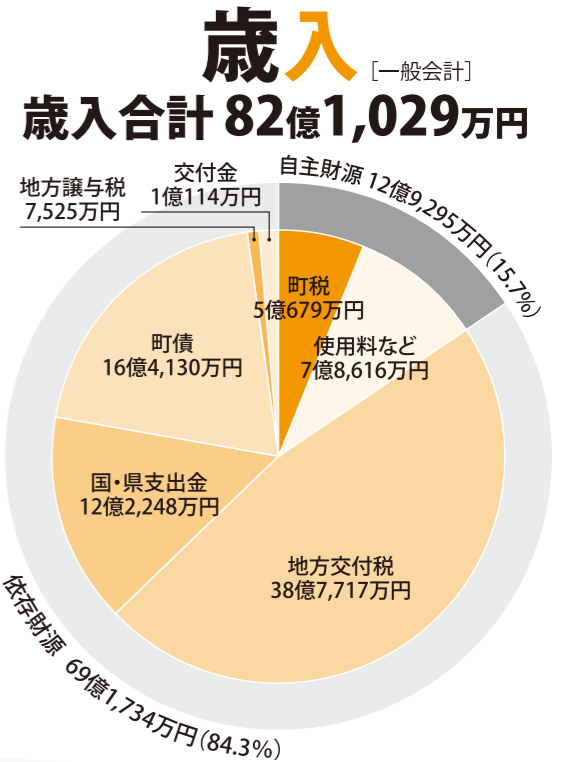
37億5,577万円
1人 75万円
1世帯 183万円

まちの決算

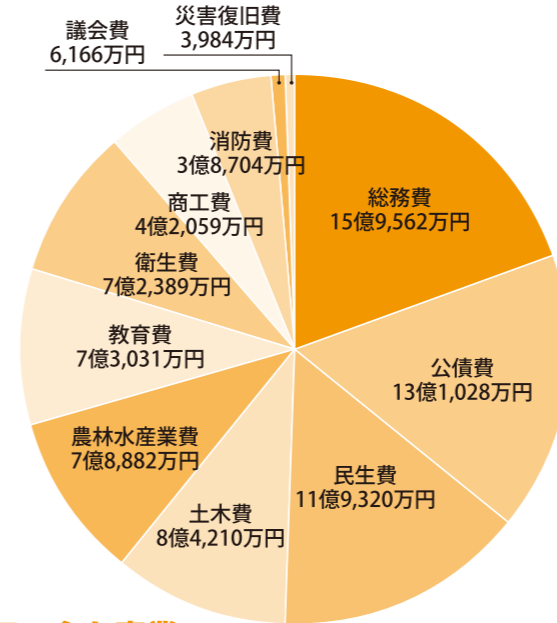
平成28年度

平成28年度の一般会計と特別会計の決算認定を9月議会に提出しました。議会では、決算審査特別委員会(内藤真一委員長他5名)を設置し、12月議会で報告される予定で審査が行われています。今月号は、平成28年度に町が実施した事業にどのようにお金が使われたかを紹介します。

歳入の状況
町税は、固定資産税や軽自動車税の収入が増えたことから、昨年度から約2千万円増加しました。
歳入全体で見ると、総額の47%を地方交付税が占めるなど、歳入の8割以上を国・県から交付される資金で賄っています。地方交付税は町合併による加算分が段階的に縮小しており、今後も歳入に見合った財政運営が必要となっています。



歳出 歳出合計 80億9,335万円



各費目の主な事業

- 総務費** 庁舎建設、定住促進住宅建設(4戸)、携帯電話鉄塔建設(伊比)、デマンドバス整備(2台)、地域おこし協力隊など
- 民生費** 臨時福祉給付金、保育所運営など
- 土木費** 町道整備、除雪車整備(11tドーザ)、公営住宅用地造成など
- 農林水産業費** リースハウス団地整備、農業基盤整備、鳥獣被害防止など
- 教育費** 交流センターとんぼら建設、赤名小学校大規模改修など
- 衛生費** 医療従事者確保対策助成金、各種健診・予防接種など
- 商工費** 琴引スキー場人工降雪機整備・圧雪車整備など
- 消防費** 消防ポンプ自動車整備(1台)、防災行政無線整備など。

【総務費】選挙、庁舎維持費、地域振興などに使われる費用
【公債費】町債(借金)の返済費用
【民生費】保育所や高齢者・障がい者福祉、生活保護などに使われる費用
【衛生費】予防接種や健康診断、ごみ処理、環境の保全などに使われる費用

